

## トップアスリートと連携して楽しさ

### を味わわせる水泳の実践例

学 校 名 山口市立井関小学校（山口県）

電 話 番 号 0836(65)2053

全校児童数 151名（男子88名 女子65名）

種目等 水泳（5.6年生 男子37名 女子23名）

#### 1 取組のねらい

「泳げるようになりたい」「長く、速く泳ぎたい」という児童の願いを達成するために、トップアスリート（山口国体（きらら山口）競泳選手）と連携した体育授業（5・6年生水泳）を展開することにより、クロールや平泳ぎの基本的な技能の習得を図るとともに、運動の楽しさや喜びを味わわせる。

#### 2 取組体制

地域スポーツ人材（外部指導者）による指導体制を取り入れ、「体育授業の改善と充実」に向けて、トップアスリートを小学校体育授業に派遣する県教育委員会の事業を活用し体制を整えた。

#### 3 取組の概要

##### （1）活用前

児童個々の課題が明確になるとともに、技能の習得状況の個人差が開いてくる5・6時間目（全12時間）に外部指導者と協力した指導の時間を設定し、事前に技能の習得状況等について、外部指導者と授業の展開方法や役割分担について協議を行う。

##### （2）授業展開

学級担任2名と地域スポーツ人材2名のTTで行った。授業の進行は担任が行い、地域スポーツ人材は、ストリームラインと手のストロークの習得に向けた課題別グループをそれぞれ担当し、示範や実技指導を行った。

##### （3）活用後

5・6時間目に外部指導者の示範を見たり、指導を受けたりしたことを生かして、その後の水泳の学習を進め、確実な技能の習得を図った。

## ○児童の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 トップアスリートの専門的な知識や豊富な経験を生かして、安全確保の面からも効果的な準備運動を指導していただいた。
- 2 外部指導者2名が、課題別グループで指導を行う際には、学級担任1名は必ずプールサイドから全体を見渡し、安全確認を行うようにした。

## ○成果と課題

- 1 現役トップアスリートによるゆっくりとした示範は、動きのイメージの明確化に大変効果的であった。また、動きのポイントについて、実際に動きを見せながらの指導は、その後の児童一人一人の課題解決に向けた学びの充実につながった。
- 2 トップアスリートとのふれあいは、スポーツを身近に感じるきっかけになり、9月に開催された山口国体水泳競技の応援に行った児童もいた。

## ○研究内容

### 【ストリームラインの指導】

正しいストリームラインについて指導



### 【示範】

児童にわかりやすいようにゆっくりと演示



### 【個別指導 1】

一人一人の手を取り、直接指導



### 【個別指導 2】

苦手な児童にもわかりやすくアドバイス



### 【授業後の学校通信より】

6月30日は、5・6年生の水泳の授業に、指導者として2名の国体選手をお招きしました。最初に泳ぎを見せていただき、子どもたちからは、「わ〜っ！」という歓声と拍手があがりました。「やっぱり、現役の選手の泳ぎはすごい！」と感じました。その後、二人は、子どもたちの手をとったり、実際に自分の体で示したりして、一人一人にアドバイスをされました。児童は次に泳ぐときは、教えていただいたことに気を付けながら泳いでいたようです。子どもたちと、25mやリレーも競ってくださり、気さくな二人に、これまで以上に水泳が好きになったようです。



### 【活用後】

10月、山口国体で活躍した2人を児童が招き、ふれあいを深めた。

## 地域スポーツ人材との連携で教員の指導力を高めた実践例

学 校 名 長崎市立南陽小学校（長崎県）  
電 話 番 号 095(879)0276  
全 校 児 童 数 336 名（男子 191 名 女子 145 名）  
種 目 等 全領域 全学年

### 1 取組体制

- （1）体育の授業の充実により、児童の運動への意欲を高めるとともに、教員の指導力向上を図ることをねらいとして、県教育委員会の事業を活用し、体育活動コーディネーターの派遣を依頼した。
- （2）情報を共有するために、体育活動コーディネーターも「子ども連絡会」「職員会」に参加し、教職員との情報交換を密に行いながら指導に生かすことができるよう校内の体制を整え、共通理解を図った。

### 2 取組の概要

体育授業の充実と教員の指導力向上にむけて以下の取組を行った。

#### （1）担任への授業計画の提案と役割分担

- ①単元に入る前には、指導計画書やまるわかりハンドブックを活用しながら、必ず打ち合わせを行い、単元計画を立てて授業に臨んだ。その際、教具やカードの作成についても話し合い、協力して作成し活用した。
- ②授業では、支援を要する児童への手立てや体育活動コーディネーターによる試技など、分かりやすい授業作りに努めた。また、担任と体育活動コーディネーターによる研究授業を年間4回行い、教員の指導力向上を図った。

#### （2）体育主任との連携による新体力テストの複数回実施と結果の活用

- ①春の新体力テストの結果分析から本校の課題を明確にするとともに、その解決に有効な運動を組み合わせた準備運動の考案を体育活動コーディネーターが担当し、児童集会で発表して継続的に全校で活用した。
- ②体育授業の指導や体力向上への取組の評価を行い、指導や取組の修正を図るために、体育主任と役割を分担し、2学期末に、再度、新体力テストを行った。この結果を児童や保護者に知らせることで、家庭での体力向上への関心が高まったとともに、体力向上に向けた体育授業の改善について、教員の意識の向上へもつなげることができた。

#### （3）学校体育を生かした学校づくり

健康は「生きる力」の土台、生活の根幹であり、特に子どもには日頃から体を動かすライフスタイルを形成する必要がある。日々の授業で楽しく、しかも耐える心と体（健康）の育成を図る上では、学校体育は欠かせないと考える。また、体育授業との関連により、始業前や休み時間に運動（遊び）を活性化させ、運動の日常化を図ることも重要である。これらのことを、学校として具現化するにあたり、体育活動コーディネーターを活用することは、大いに有効であった。

## ○児童の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

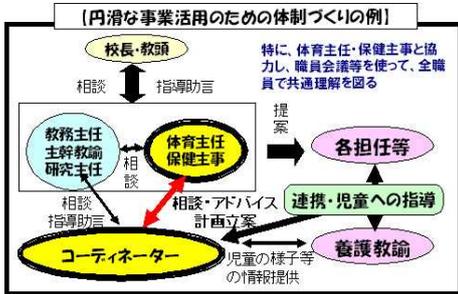
- 1 体育主任と体育活動コーディネーターが協力して運動施設の安全点検を日々行った。特に、事故防止のためにサッカーゴールの固定器具を作成したことは管理の簡略化に有効であった。
- 2 体育の授業では、担任と役割分担をして、T2として器械・器具の配置や故障を体育活動コーディネーターが確認したり、支援を必要とする児童の個別指導に入ったりすることで安全面の確保を行った。

## ○成果と課題

- 1 担任と体育活動コーディネーターが授業づくりの相談をしたり、教材やカードを準備して授業に臨んだりする姿が見られた。このことは、教員の体育学習への指導力向上につながり、児童も安心して活動に取り組み、体育の授業の充実が図られた。さらに、体力テストの結果を授業に反映させたことで体力の向上につながった。
- 2 体育活動コーディネーターが始業前・給食時間や休み時間にも児童と会話したり活動したりすることで、運動好きや外遊び好きの児童が多く見られるようになった。体育活動コーディネーターが授業以外の場面で、子どもの取組を評価していることの効果であり、担任に報告され、さらに褒められることは、本校の研究する自尊感情の育成に寄与した。

# ○研究内容

**【本校での情報を共有する体制作り】**  
 体育活動コーディネーターが終日派遣されることで、児童と給食や休み時間も共に活動して、情報交換しながら共通理解を図り、指導支援に役立つ。



**【コーディネーター担当授業表】**  
 計画的に体育授業の指導に入ることができるように作成した。各担任からの希望が多く、派遣事業の効果の現れでもある。

	月	火	水	木	金
①					
②	3-2	1-2	1-1 1-3	3-1	6-1
③	1-1	1-3	2年	1-2	休
④		4年			2-2
⑤	5-1		4年	6-2	
⑥		6年			5-1

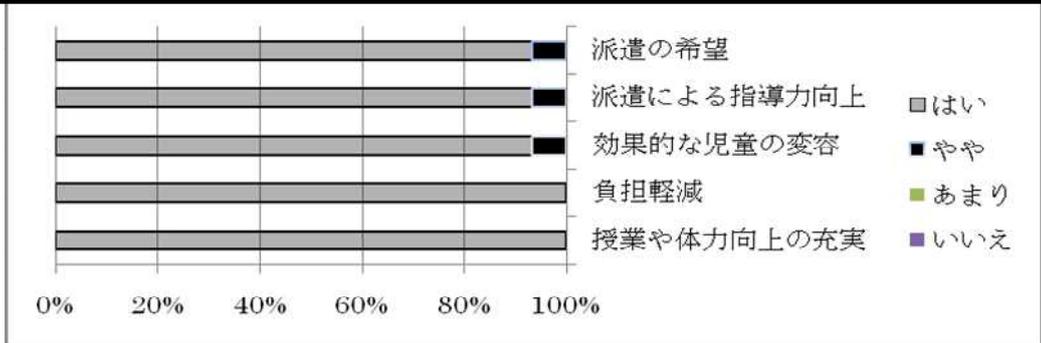
**【担任との授業打ち合わせ】**  
 体育活動コーディネーターが作成した掲示物やカードを広げ、授業をイメージしながら担任との打ち合わせを行う。



**【準備運動を集会で披露】**  
 春の新体力テストの結果を基に作成した準備運動を集会時に全校児童に紹介し、体育授業で継続活用した。



**【体育活動コーディネーター派遣事業活用に関する教員アンケート】**  
 指導計画や日程を見ながら体育活動コーディネーターが担任に声をかけてくださるので、相談がしやすく、授業も計画通りに実施できた。用具の準備もスムーズで、運動する時間が十分に確保できた。鉄棒運動では、個に応じた指導ができ、子どものできる技が増え、多くの子どもが自信を持つことができた。保護者からも「是非、このようなシステムを1年きりにしないで欲しい。」という要望が学校評価に記されていた。



**【安全管理におけるサッカーゴールの固定】**  
 サッカーゴールの固定管理について、安全面や作業軽減を考慮して、体育主任と体育コーディネーターが協力して作製した。

## 地域スポーツ人材と教員の役割を明

## 確にして取り組んだ実践例

学校名 大分市立大在中学校（大分県）

電話番号 097-592-0024

全校生徒数 818名（男子430名 女子388名）

種目等 空手道

### 1 取組体制

#### （1）外部指導者の確保

地域において長年空手の指導を行い保護者等からの信頼が厚いこと、今後も継続した指導が可能なこと、学校の方針に沿った指導を行うことから、外部指導者として派遣を要請した。

#### （2）外部指導者との連携

年度当初に管理職・部活動担当・顧問らと、指導方針や安全・安心に基づく指導内容について確認している。また、顧問とは、練習内容や練習時間の調整、各種大会への参加等について、定期的に打合せを行った。

### 2 取組の概要

#### （1）役割分担の明確化

①技術指導は外部指導者が行った。

②大会の申込や保護者への連絡など、マネジメントは顧問が行った。

#### （2）指導上の確認事項

①部員の様子や健康に関すること等、顧問と外部指導者とで情報を共有した。

②練習計画の作成や選手の決定は、顧問と外部指導者で協議した。

#### （3）指導方針

①基礎・基本の充実を目指した。

②体力の向上や基本動作の定着を指導の重点とした。

③部活動をとおしての態度面の向上。挨拶やマナー、日頃の生活など、技能以上に態度面の向上を大切にした。

## ○生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

① 個の技能レベルを確認し、個に応じた練習課題を提供することにより、生徒に負担のかからない練習を行うことができた。

② 練習には顧問か外部指導者のいずれかが必ずつくようにした。また、練習前や練習後の健康状態については、常に両者で情報交換を行うようにした。

## ○成果と課題

① 生徒は道場・部活動と継続的かつ系統的に専門的な技術指導のもと技能を身につけ、九州・全国大会でも優秀な成績を残すなど、競技力の向上につながった。

② 顧問と外指導者が連携することにより、部活動だけでなく、学習面等学校生活全般において意欲的に取り組む姿が見られた。

③ 外部指導者の活用により、顧問教師の負担が大きく軽減されている。

## ○研究内容

### 【基礎・基本の充実】

体力の向上や基本動作の定着を重視した指導



### 【個に応じた指導】

個の技能レベルに応じた練習課題の提供



### 【平成23年度の実績】

各種大会で大活躍の大在中学校空手道部

- 大分県中学校総合体育大会  
男子団体組手優勝  
男子個人組手1位、2位、3位
- 九州中学校体育大会  
男子団体組手準優勝  
男子個人組手3名出場
- 大分県中学校新人体育大会  
男子団体組手準優勝

### 【生徒の感想】

部活動をとおして心も体も成長した3年間

- ・ 技のことだけでなく、礼儀についても指導してもらえたことがよかった。
- ・ 部活動と学習の両立がうまくできないときもあったが、その時は両方の先生から励ましてもらえた。
- ・ 細かく一人ひとりに応じた指導をしてもらえたおかげで、本当に力がついた。高校に進学してからも頑張りたい。

### 【礼に始まり礼に終わる】

技能以上に礼儀や生活態度を重視した指導



### 【地元TV局が番組放映】

地域指導者による部活動の様子をTVで紹介



## 地域スポーツ人材と連携し生徒の意欲を高めた実践例

学 校 名 福島県立新地高等学校（福島県）  
電 話 番 号 0244(62)2009  
全 校 生 徒 数 214名（男子124名，女子90名）  
種 目 等 バレーボール

### 1 取組体制（指導依頼までの経緯）

本校は小規模校のチームであり、中学校時代にレギュラーだった部員が少なく、技能的にはそれほど高くなく、主体的に活動できる生徒達も少ない傾向にある。さらに、バレーボールを専門的に指導できる教員がいないことから、思うように技能が向上しないなどの課題があった。

そこで、バレーボール部の顧問経験が豊富であり、部員や保護者からの信頼も厚い元高等学校教諭を外部指導者として依頼した。

### 2 取組の概要

#### (1) 新チームでのポジション決定について

##### ①目的

前年度、新人大会での県大会を逃したため、今年度は新チームで県大会出場を目指し、外部指導者のアドバイスを得てポジションの決定をする。

##### ②具体的な指導方法や取組の様子

部員の間には、顧問が指示したポジションに不満な表情を見せたり、意見の食い違いもあつたりした。顧問が指導や助言を与えても逆効果になることさえあり、競技へのモチベーションを上げることが難しかった。外部指導者の協力を得てからは、生徒達にポジションを考えさせたり、練習試合での結果を踏まえた外部指導者のアドバイスを取り入れたりした。専門家の言葉には説得力があり、部員には納得の表情が見られた。このような取組を積み重ね、生徒も顧問教員も共に納得するポジション決定ができ、生徒の意欲も向上した。

#### (2) 大会前の練習内容について

##### ①目的

試合ではいつも相手チームの気迫に押され、チームのよさを発揮できなかったため、試合前に緊張感のある練習をする。

##### ②具体的な指導方法や取組の様子

試合に近い環境を学校で作ることは難しいが、外部指導者は、過去に経験した試合中の場面を想定した練習で緊張感を持たせた。また、技術指導でも厳しいプレッシャーを与えることで、雰囲気呑まれない強い気持ちを持たせることができた。

## ○生徒の安全を確保するための配慮（工夫）したこと

- 1 生徒のやる気や集中力が切れそうなときはけがをしやすい。そこで外部指導者は、緊張感のある練習の中にもユーモアのある話題で楽しい雰囲気を作り、やる気と集中力を持続させていた。
- 2 生徒の体調や環境に合わせて練習内容を工夫した。例えば、蒸し暑いときは、話し合いなどの活動を多くし、熱中症を予防した。また、人数が少ないときには、ビーチバレー方式などを取り入れた。

## ○成果と課題

- 1 外部指導者のおかげで、部としての目標が明確になり、それに対する取組も設定しやすくなった。また、中学校との連携も構築できつつあるので、この事業を継続することでバレーボール部の活性化を進めたい。
- 2 バレーの専門的な技術だけでなく、心理面への対処法も指導していただき、大変参考になった。
- 3 専門的な指導者がいるという安心感から、顧問教員の抱えるプレッシャーも軽減された。生徒も精神的に安定し、志気の低下も少なくなった。他の女子運動部の原動力になり、学校全体の活性化につもなっている。
- 4 顧問教員もさらに専門的知識を身に付け、実戦を通して的確な指導ができるようになることが大切である。

## ○研究内容

### 【専門的な知識や技術の指導】

外部指導者の熱心なアドバイスを真剣に聞く部員達



### 【ユーモアを交えての指導】

緊張感のある練習中にも、ユーモアも。思わず笑みが…



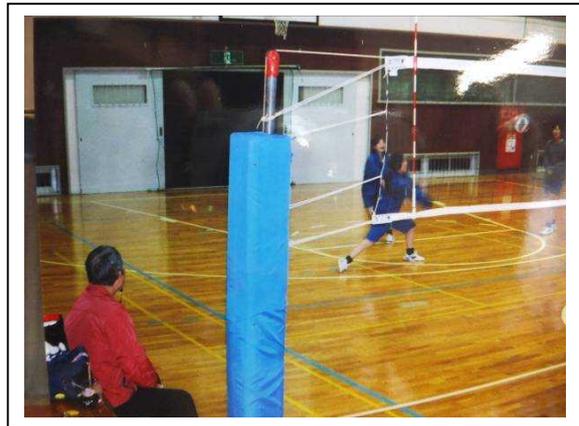
### 【外部指導者の指導の様子】

男子バスケットボール部員に協力してもらってミニゲーム



### 【外部指導者の指導の様子】

ポジション決定に向け、部員の技能を把握



## ★ 女子部活動の活性化に向けて

### 〈女子運動部員入部活動状況〉 年間を通して活動している人数

実施運動部名	1年生入部活動人数 ( )内は1年生全女子数				
	H19年度 (32名)	H20年度 (33名)	H21年度 (31名)	H22年度 (22名)	H23年度 (36名)
バレーボール部	2	5	2	4	1
バドミントン部	0	7	1	5	0
ソフトテニス部	0	2	0	0	0
卓球部	0	1	0	0	0
バスケットボール部				1	3
弓道同好会					1
合計	2	15	3	10	4

### 女子部活動の傾向の分析

- 1 全体的に運動部への加入率が低下傾向が見られる。
- 2 入部しても続かない生徒が多い。
- 3 楽しさを目的に活動したいため、先輩の少ない部活動へ入部する傾向が強い。
- 4 女子の各部活動で、部員の精神的な弱さが見られる。

### 女子部活動の今後の課題

- 1 各競技の専門指導者(外部指導者を含む)
- 2 中学校との連携(中学校へのPR)
- 3 部活動継続の意義の伝達
- 4 やる気の喚起(工夫が必要)

## 地域のスポーツクラブと連携した実践 例

学 校 名 志摩市立磯部中学校（三重県）  
電 話 番 号 0599(55)0054  
全 校 生 徒 数 216 名（男子 102 名 女子 114 名）  
種 目 等 相撲・サッカー

### 1 取組体制

当事業にかかわる地域の実態として、本校のある磯部町は平成 14 年 6 月、「いそべスポーツクラブ」を設立した。同スポーツクラブ設立のねらいに、子どもの健全育成が位置付けられている。このことから同町は、地域全体で子どもたちを見守り、育成していこうとする住民の意識が高い地域である。同スポーツクラブには、本校にある運動部活動の競技があり、小学校から指導者のもとで該当クラブの競技に取り組んでいる生徒がいる状況にある。外部指導者は、生徒が小学生の頃から指導に携わっている方に依頼し、引き続き中学校でも運動部活動の指導に当たっている。

なお、相撲部については、平成 11 年 1 月に同町に私設の相撲道場が開設され、指導者が日々熱心に指導に当たっている。そこでは小・中学生が稽古に励んでいる。

### 2 外部指導者との役割分担

基本的には、部活動顧問が中心のもと、外部指導者と連携を密にしながら部活指導に当たっている。外部指導者とは、円滑な人間関係を大切にしながら、技術指導を中心に指導に当たっていただいている。また、練習試合や公式試合などではコーチとして関わっていただいている。

## ○生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 生徒の安全を期するため、事前に打ち合わせやミーティングを持つなどして、生徒一人一人の体調や練習に取り組んでいる様子などを情報共有しながら指導に当たった。
- 2 生徒が集中力を欠くことのないよう、常に目標をもたせながら、チームや個々の課題を明確にしながらか、効果的な練習方法を取り入れた。

## ○成果と課題

- 1 地域人材を積極的に活用することで、顧問教員の部活動指導への意識の向上と、生徒の部活動に対する自主性や関心・意欲が向上した。
- 2 専門的な技術指導を受けることができたため、生徒の技能習得に大変効果的であった。
- 3 生徒の技能の向上が競技力の向上につながった。
- 4 部活動に取り組む生徒の意欲的な姿が学校の活性化につながっている。
- 5 運動部活動顧問、外部指導者、生徒の三者がともに信頼関係の上に円滑に活動に取り組むことができたが、日々多忙な学校生活の中で、部活動顧問と外部指導者との十分な意見交換をどう確保していくのか、また、生徒との信頼関係をどのように構築していくのが今後の課題である。

## ○研究内容

### 【サッカー部の練習風景】

顧問と外部指導者が役割分担をした練習風景



### 【サッカー部の練習風景】

チームの課題を克服するための効果的な練習



### 【相撲部のぶつかり稽古】

技能向上を目的とした個に応じた練習

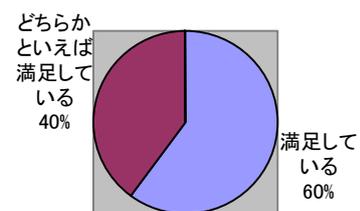
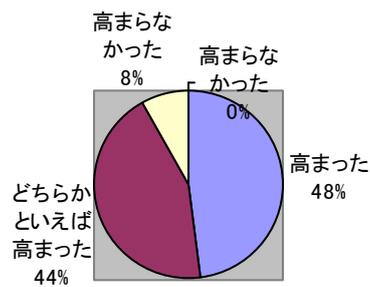


### 【相撲部の四股】

個の課題を克服するための地道な練習



【第2回アンケート（生徒）結果から】上記左側：「技能」の高まり，右側：「満足度」



### 【事業の成果】

生徒の多くが取組について評価している。

- ・9割以上の生徒が「技能」の向上が図られたと回答している。また、生徒全員が「満足感」を得られたと回答している。他、「チームワークの高まり」「礼儀やマナー」についても生徒の評価は高かった。

### 【ある生徒の感想から】

技術面及び精神面も大きく成長できた。

- ・「顧問教員と外部指導者のおかげで、技や力だけでなく精神面も成長させていただいた。」この生徒の感想にある言葉に尽きる。生徒の健やかな成長にこの事業が果たしている役割は大きい。